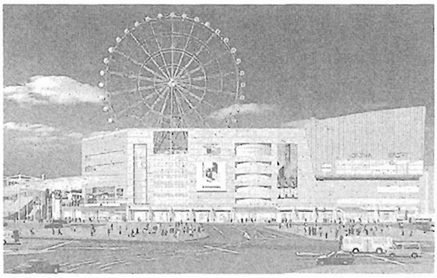
アミュプラザ開業記念祝賀会

シンボル的役割を期待


アミュプラザ鹿児島の完成パース

17日にグランドオープンする「アミュプラザ鹿児島」（鹿児島市中央町）の開業記念祝賀会が16日、鹿児島市新照院町の城山観光ホテルで開かれ、小里貞則衆議院議員や伊藤祐一郎県知事ら関係者約450人が出席し、盛大に開業を祝った。

式では初めに主催者を代表して九州旅客鉄道㈱の石原進社長が「先に開業した九州新幹線の利用率も予想を大きく上回っている。建物も地下通路で結ばれることにより駅周辺の回遊性が広がり、魅力あふれるにぎわいが期待できる。地域の皆さんに愛され、親しまれる施設となるよう努力したい」と挨拶した。

続いて来賓として出席した小里氏が「今年3月に開通した新幹線の利用状況や経済効果など、全国から注目されている。新幹線開業が観光浮揚の第一弾なら、駅ビルの開業は産業・経済の原動力となるべく第二弾といえる。192のテナントの皆さんが一体となり、役割・目的達成を目指しながら県民や九州全体の期待に応えてほしい」とエールをおくった。

その後、伊藤知事が「中央駅周辺の商店との連携を深めつつ、鹿児島のシンボル的役割を担ってほしい。さらに、新しい文化や心と心の出会いを提供する場として成長してほしい」と祝辞を寄せた。

続いて赤崎義則鹿児島市長や神野典久鹿児島ターミナルビル㈱社長ら関係者15人が記念の鏡開きを行い、開業を祝った。

開業を祝い鏡割りを行う関係者＝鹿児島市の城山観光ホテルで

2級建築士受験準備講習会

本番に向け21人受講

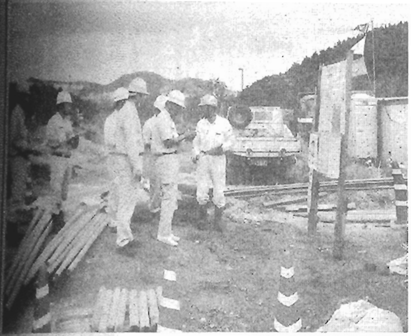
真剣に受講する参加者＝鹿児島市の公社ビルで

県建築士会主催の16年度2級建築士受験準備の直前講習会が16日、鹿児島市の公社ビル大会議室で開かれ、「建築設計製図」について21人が受講、22日の本番に向け真剣なまなざしで講義を受けていた。

講習会では、今回のテーマである「趣味（フラワーアレンジメント）室のある専用住宅（木造2階建て）」について、丸山義治氏（JA鹿児島県経済農業協同組合連合会燃料施設事業部長）を講師に招き、試験当日の注意事項やポイントなどを説明。このなかで、与えられた敷地などをいかに有効に利用するかやプランニングにかける時間を短くし、製図にかける時間を少しでも取れるようにしなければいけないことなど試験に対しての注意を与えていた。なお、同講習は17日も行われる。

県造園建設業協会安全パト

ふれスポ完成前 最後まで引締め喚起


現場代理人から説明を聴く診断員＝鹿児島市の現場で

県造園建設業協会（丸山重之会長）は16日、鹿児島市の鹿児島ふれあいスポーツランドの10工事現場で安全パトロールを実施、10月のオープンを前に工期がひっ迫し仕事がふくそうする現場の労働災害防止と安全管理の徹底を呼び掛けた。

同日は午前10時、同施設の駐車場に集合。初めに国生作雄同協会経営委員長（吉田造園工務㈱社長）が「工期も迫っているので、念入りな安全指導をお願いしたい」と挨拶。引き続き、点検事項の確認などを行い、各現場を訪れ点検を開始した。

一行は、各植栽工の現場で、現場代理人から作業内容等の説明を受けながら、チェックシートをもとに、現場事務所の安全点検簿、安全衛生管理などの状況や、現場内の整理整頓などを入念に点検した。

反省会では、各現場とも良く整理整頓がされており概ね良好としながらも「完成間近の現場が多いので、最後まで気を引き締めて無事故で作業してほしい」と注意を促した。

森建設労働安全大会

安全管理の認識新たに

森建設安全大会
MORI
安全第一を訴える森社長＝輝北町の森保養センターで

㈱森建設（森義久社長、曽於郡輝北町）は16日、曽於郡輝北町の森保養センターで16年度労働安全大会を開き、関連会社や協力会社から160人が参加、「安全は一人ひとりが責任者目指そう果たそう危険ゼロ」を合い言葉に労働災害防止、交通事故防止などさらなる安全への取り組みを確認した。また同社は、長年継続した献血運動で志布志保健所長より感謝状を受賞した。

大会では、物故者に黙とうを捧げた後、森社長が「生き残っていくためには安全が第一。37年前に死亡事故が発生して以来、無事故でこられていることに感謝します。苦しい中で頑張り続ける企業が生き残れると思います。さらに安全の認識、意識を高めるため、本日の大会で学んだことを今後の仕事等に役立てて下さい」と挨拶。続いて感謝状と安全功労賞の表彰式が行われた。

安全講話では、山口大輔志布志労働基準監督署監督官が、災害事例等を説明し労働災害防止を訴えた。また、健康講話では、産業医の近藤春香心理学カウンセラーがストレスが蓄積しない方法や気持ちの持ち方等について説明した。

最後に樺元大作氏（㈱森建設建築部）が「ゼロ災唱和」を唱え閉会。大会終了後は、献血も実施、大会参加者が愛の献血運動にも協力した。

表彰者は次の通り。

感謝状＝㈱今村工業　㈲福永建設▽従業員安全功労＝松崎正信　漆間健治　炭床勇二　谷口俊治

きょうから県議会

マリンポートなど質問

16年度第3回県議会第3回定例会の代表質問が17日から始まる。同日は本坊輝雄県議が知事の県政に臨む基本姿勢、行財政問題、公共事業について、マリンポートかごしま、県管理道路の維持補修業務に係る民間委託、高規格幹線道路の整備促進等について質問する。山本求之県議は行政評価・監視委員会、地域の公共交通ネットワーク、100人委員会の設置、中小企業支援策・新事業創出や起業化支援策、雇用対策、環境行政、保健福祉行政などについて答弁を求める。

出水土木等公共建築展

子供たちに紙模型人気

好評を集めた公共建築展＝出水市の県営住宅ラガール出水集会場で

県出水土木事務所と県営住宅ラガール出水安全協議会は、地域の子供たちや高齢者に公共事業をもっと身近なものに感じてもらおうと、同事務所建築課が主体となって「敬老の日」のイベントもかねて15日、出水駅東口前で建設中の県営住宅ラガール出水集会場で写真とペーパークラフトによる「公共建築展」を開き、近くの家族連れやお年寄りらでにぎわった。

展示は、県営住宅ラガール出水や耐震補強した出水合同庁舎、桜島フェリーターミナルなど県内各地の2作品。いずれも写真の下には建物が立体的に想像できるようにとペーパークラフトを添えた。これが好評で、子供たちは見て、触って楽しんでいた。

クラフトを製作した松尾浩一建築課長は、黒木節雄技術主査と一緒にラガール出水の建築計画やクラフトの作り方などを説明していた。ちなみにラガールは、フランス語で「駅」の意味。